

令和5年度「#あおばな in 十和田西小学校」開催概要

小・中学生と知事との交流を通して、県政を身近に感じてもらうとともに、新鮮な意見・発想や将来への期待等を把握し、開かれた県政の推進と今後の県政運営の参考にするため、県民対話集会「#あおばな～青森・未来・対話～」を下記のとおり十和田市立西小学校で開催しました。

○日時：令和5年12月6日（水）13：30～15：00

○場所：十和田市立西小学校

○参加学生：4～6学年62名

<生徒との意見交換>

代表生徒からの意見に知事がお答えしました。

- ①十和田市の「沼袋の名水」を守るためにできることについて
- ②地産地消の良さや米づくりの工夫をPRし、農業を盛んにしていく方法について
- ③認知症の方やお年寄りが安心して住める地域づくりについて
- ④高齢者や障がい者の移動に関するバリアフリーについて

上記に係る意見交換の後、約20名の生徒が参加し、ボールを使ったゲームを実施して、対話の重要性について考えました。

※知事から生徒へのコメントの一部を紹介します。

皆さんにはぜひ、自分が夢中になれることを探してもらいたい。それが未来に繋がるようなことであれば、なお良いです。勉強というのは、まさに「学び」だね。自分が好きなことを一生懸命学び、熱中してほしいなと思います。

そして、みんなにやってほしいことは、街で「あいさつ」をしてほしいということです。子どもたちの笑顔で、大人は元気になれます。そうやって交流が広まっていくことが地域の皆さんにとっても一番良いことだと思います。

これからの青森県は、「対話」を重視し、大きく変えていきたいと思っていますので、皆さんも今日学んだ「対話の力」を忘れないでいてほしいなと思います。

